

令和6年度 シラバス

学年	教科	教材
3年	技術科	・教科書 新しい技術・家庭 技術分野（東京書籍） ・副教材 技術・家庭ノート 技術分野（新学社）

1. 学習の目標

- ・ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工，エネルギー変換，生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得する。
- ・技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を身につける

2. 学習の方法

- ・自分の生活や身の回りのことに関心を持つ
- ・家庭ノートやワークシートを用い学習内容を整理しよう。
- ・学習を通して、生活に役立つ基礎的・基本的な技能を身につけよう。
- ・学習したことを自分の生活に当てはめ、より良くする方法を考えよう。また学んだことを実践しよう。

3. 評価の観点と評価方法

評価の観点	評価の方法
知識・技能	提出物（ワークシート・ファイル・技術ノート）・定期テスト・実技テスト
思考・判断・表現	実習・作品・レポート・ワークシート定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組み（作品・実技テスト・定期テスト）・提出物（ワークシートなど）

4. 年間指導計画

月	単元・題材名	主な学習内容	学習のねらい
4 5 6 7	コンピュータと情報通信ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの仕組み ・デジタル化について ・データ量について ・情報通信ネットワークの仕組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの構成や機能についてわかる ・デジタル情報とアナログ情報の違い、デジタルでの表し方がわかる ・デジタルで表したときのデータ量についてわかる ・世界をつなぐ情報通信ネットワークの仕組み、情報を伝達するための仕組みがわかる ・Google、Canvaを用いて情報を伝えるための作品を製作することができる
9 10 11	情報の技術 コンピュータと情報通信ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティ技術 ・情報の安全利用 ・知的財産権 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークを安全に使うための情報セキュリティの方法、ソフトウェア、バックアップの方法がわかる ・情報モラルについてわかり、情報社会で安全、安心して活動することができる ・知的財産について理解し、自分の権利を守り、他者の権利を侵すことが無い様に見える ・Googleの機能を用いて共同制作を行い、グループで一つの作品を作り上げることができる

<p>12 1 2 3</p>	<p>・プログラムによる 計測・制御</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自動化の技術 ・計測・制御の仕組み ・プログラムの役割 ・プログラムの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りで自動的に動く製品と情報のつながりがわかる ・計測・制御システムやセンサの働きがわかる ・プログラムがどのようなものか、プログラム言語で書かれていることがわかる ・スクラッチでプログラムを作成し、ロボットを動かすことができる
-----------------------------	----------------------------	---	--